



DESIGN &
BUSINESS

FORUM

デザイン&ビジネスフォーラム宣言(案)

—21世紀デザイン立国を目指して—

平成15年10月30日

1. 本日、デザインを活用したビジネス活動推進の中心となるリーダーが一堂に会し、「デザイン&ビジネスフォーラム」を設立した。

本フォーラムでは、

- ・企業・産業の競争力強化のためには、優れたデザインの活用による製品の付加価値向上、さらにはそれらを通じたブランドの確立が重要であること。
- ・国民のデザインを見る目が醸成され、美しいデザイン、使いやすさに配慮したデザイン、環境に優しいデザインなど、多様で優れたデザインを求めるマインドが高まると、企業の製品開発が活性化するとともに、国民自身が真に豊かさを実感できる社会が実現すること。

との認識が共有された。

2. このような認識に立ち、広く国民の優れたデザインへの理解と関心を高めるため、「デザイン&ビジネスフォーラム」が、

- ・優れたデザインの活用による企業の競争力強化、ブランドの確立を促すためのセミナー、シンポジウム
- ・デザインを活用して成果をあげた企業の表彰等

に積極的に取り組んでいくことが合意された。

今後、本フォーラムに参加した各々の者が、率先して「デザイン&ビジネスフォーラム」の活動の推進に向けて結集して取り組んでいくことを、ここに宣言する。

「デザイン&ビジネスフォーラム」設立趣意書

近年、わが国産業界は、国際競争が激化する中で産業全体の競争力低下、厳しきの続く雇用情勢、エネルギー・環境・リサイクル問題の重要性の増大等、その環境は益々厳しさが増えています。他方、企業の経営改革、グローバルな事業展開、情報技術の活用による経済・社会の改革等の動きが加速化してきており、経済構造改革の推進の重要性が高まるといった環境変化に見舞われております。

このような環境下にあって、政府は、平成14年7月に「知的財産戦略大綱」を発表し、本年3月には「知的財産基本法」を施行し、わが国産業界の競争力を高め、経済・社会を活性化するために「知的財産立国」を目指すこととしています。また、本年6月には、経済産業省から「戦略的デザイン活用研究会」の報告（競争力強化に向けた40の提言）がなされ、産業界の競争力強化、ブランド確立対策としてデザイン力を重要な経営資源の一つに位置付け、その強化に向けたビジネス戦略とデザイン政策の展開が提言されました。

我々一同は、このような背景のもと、技術開発等による従来にも増した優れたものづくりに加え、ブランド化を念頭に置いたデザインの創造・活

用の推進や、こうした活動を担う人材育成を基盤に据えた国家戦略を実現すべく、産業界、デザイン界、教育界その他各界の総力を結集して、「デザイン&ビジネスフォーラム」を設立し、全産業的見地からデザインに関する各種事業を実施することにより、わが国産業の競争力強化に資するとともに、広く国民に優れたデザインへの理解と関心を高める所存であります。

以上の趣旨にもとづいて、「デザイン&ビジネスフォーラム」では次の事業を行なおうとするものであります。

1. フォーラム・メンバーや表彰を受けた企業の経営者、デザイナーが講師となって体験談等実践的な題材によるセミナー、シンポジウム等の事業。
2. デザインを活用して成果をあげた企業の表彰事業。
3. 各種デザイン情報の収集・発信等の事業。

なお、本フォーラムは2003年10月から2006年10月までとし、短期間に集中して事業を実施し、所期の目的を達成することといたします。

我々一同は、本趣意書に賛同され「デザイン&ビジネスフォーラム」のメンバーとなり上記事業に参画される各界各層の多数のオピニオンリーダーの参加をお待ちいたしております。

平成15年10月1日

「デザイン&ビジネスフォーラム」設立発起人

代表 山口 信夫

安藤 忠雄	出井 伸之	伊東 豊雄
稲葉 賀恵	内田 繁	岡村 正
奥田 碩	尾坂 昇治	カルロス・ゴーン
木瀬 照雄	黒田 章裕	小管 康正
佐治 信忠	佐藤 慶太	塚本 能交
長澤 忠徳	中西 元男	中村 邦夫
平野 哲行	深澤 直人	福川 伸次
福原 義春	御手洗富士夫	三宅 一生
山崎 正和		

他

(五十音順)

「デザイン&ビジネスフォーラム」規約

第1 フォーラム

1. 目的

デザイン&ビジネスフォーラム（以下「フォーラム」という。）は、企業経営者、デザイン関係者の協力により、企業の競争力強化、ブランド戦略におけるデザインの活用を促進するとともに、広く国民に優れたデザインへの理解と関心を高めることを目的とする。

2. 設立

フォーラムは、設立発起人により設立される。

3. 構成

フォーラムは、発起人の呼びかけに応じ、設立趣意書等に賛同したフォーラムメンバーにより構成される。

4. 代表

フォーラムの代表は、設立発起人代表が就く。

5. 事業

フォーラムは、次の事業を行う。

- ① フォーラムメンバーや表彰を受けた企業の経営者、デザイナーが講師となって体験談等実践的な題材によるセミナー、シンポジウム等の事業。
- ② デザインを活用して成果をあげた企業の表彰事業。
- ③ 各種デザイン情報の収集・発信等の事業。

6. 事務局

フォーラムの事務局は、財団法人日本産業デザイン振興会が日本商工会議所の協力を得ながら実施する。

7. 設置期間

フォーラムの設置期間は、2003年10月から2006年10月までとする。

第2 フォーラムメンバー

1. 加入及び退会

- ① フォーラムメンバー（以下「メンバー」という。）になろうとする者は、書面又は電子メールにより申込みをし、代表の同意を得るものとする。
- ② メンバーを退会しようとする者は、書面又は電子メールにより退会の申し出をするものとする。

2. 権利等

メンバーは、フォーラムが行なう事業に優先的に参画する権利を有する。また、フォーラムの行なう事業遂行に協力するものとする。

3. 遵守事項

メンバーは、この規約、デザイン&ビジネスフォーラム設立趣意書等に反する行為をしてはならない。

4. 退会の勧告・公表

上記の遵守事項に違反した者は、代表が退会を勧告することができる。また、これに従わなかった者は、氏名を公表することができる。

5. 会費等

メンバーに対する会費は無料とする。ただし、セミナー、シンポジウム等の事業に対して実費を徴することがある。

「デザイン & ビジネス フォーラム」事業計画

・経済産業省では、「知的財産戦略大綱」の具体化へ向けて「戦略的デザイン活用研究会」を組織し、今年5月、デザインのさらなる活用を求めた提言をまとめました。この提言の中で、日本の国際的プレゼンスをさらに発揮するために、企業の競争力強化、ブランドの確立などへむけてデザインを多角的に活用していくことの重要性が述べられています。

・このような視点から、より高度なデザイン活用を誘発する活動が不可欠と考え、

- 1) デザイン活用を促進するシンポジウム・セミナー等の啓発活動。
- 2) デザイン活用に成功し著しい成果をあげた中堅、中小企業等の表彰活動。

を3年間にわたり実施することといたしました。

特に企業表彰については、3年間にわたり100企業程度の表彰をおこなう予定であり、またシンポジウム・セミナーは、東京大阪等の大都市圏だけでなく、地域中核都市での開催も検討しております。

・またこの活動の推進にあたっては、これまで以上に、様々な方々のご支援とご協力が必要と思われまますので、この趣旨に賛同する方々による運動体「デザイン & ビジネス フォーラム」を設置することといたしました。

1・活動の目的

企業経営者とデザイン関係者との協力により、産業におけるデザイン活用をさらに促進するとともに、国民各層のデザインへの理解と関心をさらに深めることを目標として、各種の事業を実施する。

2・活動の概要

1) 企業経営者、デザイナー、有識者からなる運動体「デザイン & ビジネス フォーラム」を組織する。

2) 国民各層を対象としたシンポジウム・セミナー等の啓発活動、デザイン活用に成功し著しい成果をあげた中堅、中小企業等の表彰活動等を展開する。

3・活動の期間

2003年10月から、2006年10月までとする。

4・事務局

(財)日本産業デザイン振興会が、日本商工会議所の協力を受けながらおこなう。

5・事業のイメージ

1) フォーラム

・「デザイン & ビジネス フォーラム」は、発起人の呼びかけに応じ、この運動の趣旨に賛同する企業経営者、デザイナー、有識者によって構成される。

・フォーラムは具体的な事業の推進体として機能する。

・2003年10月(創設期)のフォーラムメンバーは200人程度とし、以降企業表彰を受けた経営者、デザイナー等の参加をいただき、2006年10月(最終段階)には500人程度になるものと想定する。

2) 企業表彰事業

・デザインを多角的に活用し著しい成果をあげた中堅、中小企業を、フォーラムの活動終了時点までに、100社程度表彰する(仮称「デザインエクセレントカンパニー表彰」)。

・対象企業の選考は推薦方式(フォーラムメンバー、商工会議所・商工会、地方経済産業局、デザイン教育機関等が推薦)とし、事務局がとりまとめ、表彰をおこなう。

・企業表彰事業は、2004年度から実施する。

3) シンポジウム・セミナー等

・フォーラムメンバーや表彰を受けた企業の経営者、デザイナーが講師となり、主として体験的実践的なシンポジウム・セミナーを実施する。

・シンポジウム・セミナーは、東京大阪等の大都市だけでなく、地方中核都市においても実施する。

4) 広報活動

・記者発表などの通常の広報活動をおこなうほか、特に振興会ウェブにフォーラム専用ページを設置し、フォーラムメンバーを紹介するとともに、企業表彰等の活動内容を掲載する。

6. 活動スケジュール (予定)

1) 2003年度

10月1日 記者発表。発起人による呼びかけ。

10月30日 フォーラム発足とシンポジウム開催

2) 2004～5年度

「デザインエクセレントカンパニー」(仮称)として各々30企業程度を表彰
受賞企業をモデルとしてシンポジウム・セミナー等を開催(各々2回程度)

3) 2006年度(「Gマーク50周年」)

「デザインエクセレントカンパニー」(仮称)40社程度を表彰

「Gマーク50周年記念事業」を連携してシンポジウム・セミナー等を開催

以上